交換用バッテリパック

BYB50S／BYB80S／BYB120S 取扱説明書

本製品は、BY35S／BY50S／BY80S／BY120S の交換用バッテリパックです。

目　次

安全上のご注意

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください。

■この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

危 険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
注 意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

：禁止（してはいけないこと）を示します。例えば　は分解禁止を意味しています。

：強制（必ずしなければならないこと）を示します。例えば　はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 意（バッテリ交換時）

交換作業は安定した、平らな場所で行うこと。

● バッテリは落下しないよう、しっかりと保持してください。
● 落下によるけが、液漏れ（酸）によるやけどなどの危険があります。

指定以外の交換バッテリは使用しないこと。

● 火災の原因となることがあります。
● 商品型式：
　ＢＹＢ５０Ｓ（ＢＹ３５Ｓ／ＢＹ５０Ｓ交換用バッテリパック）
　ＢＹＢ８０Ｓ（ＢＹ８０Ｓ交換用バッテリパック）
　ＢＹＢ１２０Ｓ（ＢＹ１２０Ｓ交換用バッテリパック）

⚠ 注 意（バッテリ交換時）

可燃性ガスがある場所でバッテリ交換をしないこと。

● バッテリを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。

バッテリから液漏れがあるときは液体（希硫酸）に触らないこと。

● 失明したり、やけどをする危険があります。

● 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。

バッテリの分解、改造をしないこと。

●希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。

バッテリを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

●希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリを金属物でショートさせないこと。

● 感電、発火、やけどの恐れがあります。

● 使用済みバッテリでも内部に電気エネルギーが残っています。

バッテリを火の中に投げ入れたり 、破壊したりしないこと。

● バッテリが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。

バッテリ交換の際、バッテリ収納口に手を入れないこと。

●感電ショートの危険があります。

●金属物を中に差し込まないでください。

バッテリ接続コネクタに金属物を挿入しないこと。

●感電する恐れがあります。

梱包のポリ袋やフィルム類は幼児の手の届かない場所に移してください。

●小さいお子様がかぶったりすると、呼吸を妨げる危険性があります。

⚠ 注意

BY35S / BY50S / BY80S / BY120Sを UL 規格適合品としてご使用される場合は、運転（電源出力中）状態でのバッテリの交換はしないでください。運転状態でのバッテリの交換機能は UL 規格に適合していません。かならずBY35S / BY50S / BY80S / BY120S の運転を停止してバッテリを交換してください。

※停止状態で交換される場合は、接続機器を停止し、BY35S / BY50S / BY80S / BY120S の「電源」スイッチを切り、「AC 入力」プラグを電源コンセントから抜いてください。

※運転状態でのバッテリ交換中に停電などの入力電源異常が発生した場合、バックアップできず出力が停止します。

※バックアップ運転中にバッテリ交換をしないでください。出力が停止します。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。

● 鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
● リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

バッテリの保管（使用していない状態）可能期間は、完全充電状態から約 6 ヶ月です。（保管温度 25℃以下の場合。40℃以下の場合は約 2 ヶ月です。）

● バッテリは使用しなくても内部で自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となり、バックアップ時間が短くなったり、ご使用できなくなることがあります。
● バッテリは保管中にも劣化が進み、寿命が短くなります。早目にご使用を開始してください。
● バッテリご購入後 6 ヶ月以内にご使用を開始してください。
無停電電源装置(UPS)に取り付けて保管される場合は、保管前に 12 時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にしてください。保管期間が 6 ヶ月を超える場合、超える前に無停電電源装置（UPS）を 12 時間以上商用コンセントに接続し、バッテリの再充電を行ってください。
● 保管を継続される場合は、保管温度 25℃以下の場合には以後 6 ヶ月ごと、40℃以下の場合には 2 ヶ月ごとに再充電を行ってください。

1.　付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか、外観に損傷はないか確認してください。
万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

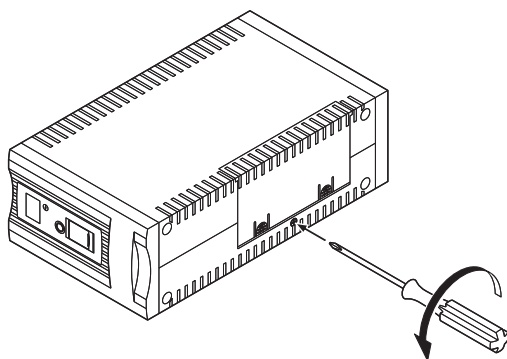
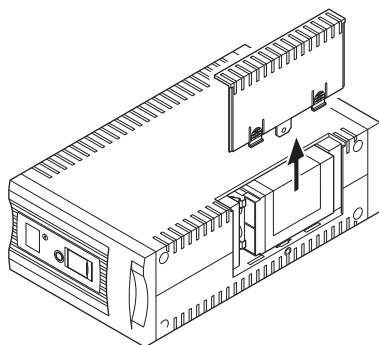
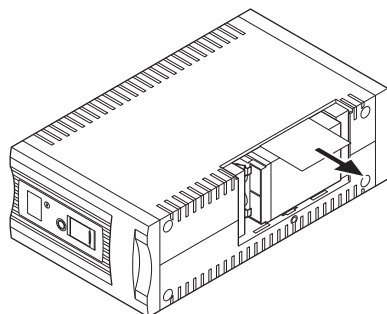
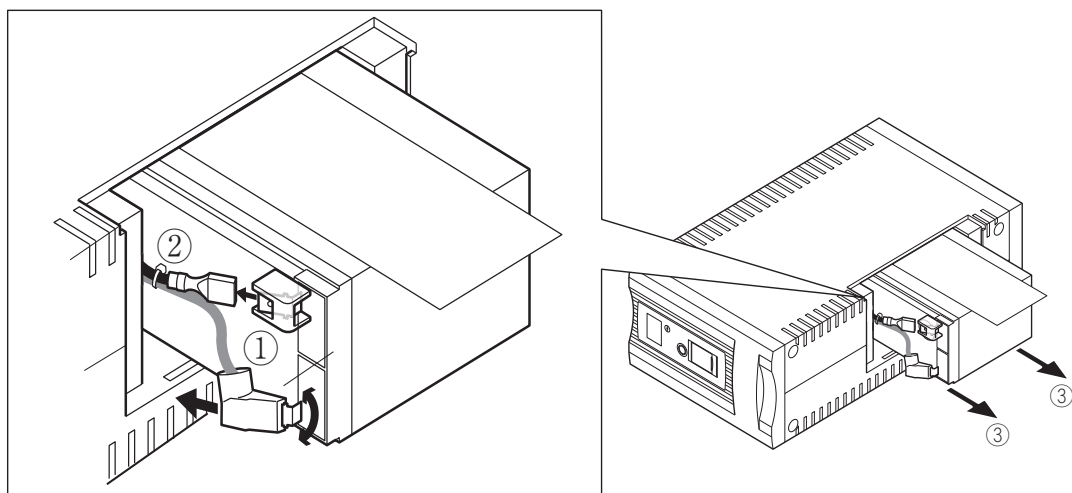
<BYB50S>
● 取扱説明書 (本書) .... 1 冊
● バッテリ交換用カバー固定ネジ（予備）........ 1 本
● バッテリ交換日ラベル .... 1 枚

<BYB80S>
● 取扱説明書 (本書) .... 1 冊
● バッテリ交換用カバー固定ネジ（予備）........ 2 本
● バッテリ交換日ラベル .... 1 枚

<BYB120S>
● 取扱説明書 (本書) .... 1 冊
● バッテリ交換用カバー固定ネジ（予備）........ 2 本
● バッテリ交換日ラベル .... 1 枚

2. バッテリの交換

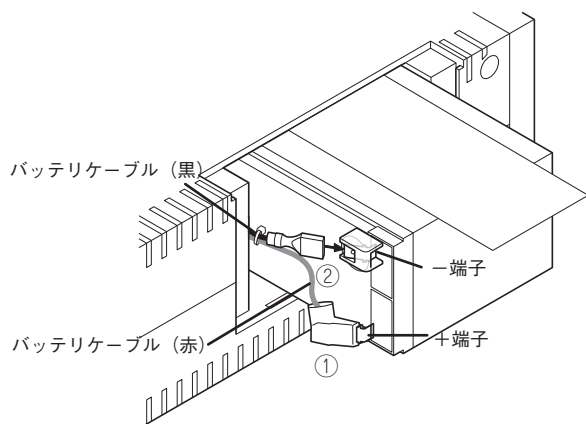
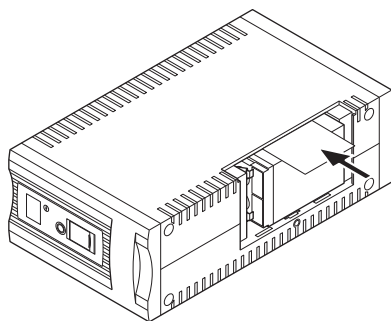
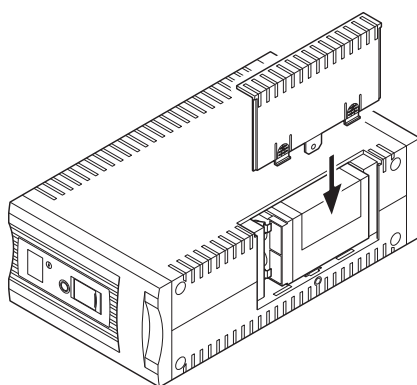
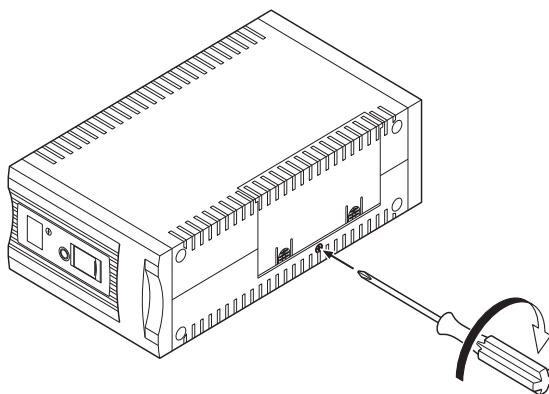
< BY35S/BY50S >

1. 本機の前面部向かって右側面が上になるようにゆっくり倒します。
   バッテリ交換用カバー固定ネジ（１個）をドライバで反時計回りに回して外します。

2. バッテリ交換用カバーを上にスライドさせて、カバーを取り外してください。

3. ラベルを持って、バッテリを半分ほど手前に引き出します。

4. 右手でバッテリを持ち、左手でバッテリケーブル（赤）を掴んでバッテリから引抜いてください。①
※固くて抜けにくい時は、コネクタ部分を上下に揺らしながら引抜いてください。
右手でバッテリを持ち、左手でバッテリケーブル（黒）を掴んでバッテリから引抜いてください。②
落とさないよう注意しながら両手でバッテリを取り出します。③

5. 新しいバッテリの前面にあるラベルを上にして、バッテリ交換口に半分ほど挿入します。

●交換用バッテリパック

ＢＹ３５Ｓ／ＢＹ５０Ｓ用:型式名　ＢＹＢ５０Ｓ

２本のバッテリケーブルのコネクタを、カチッと止まるまで差し込みます。
右手でバッテリを持ち、左手でバッテリケーブル（赤）のコネクタを、＋端子に差し込みます。①
右手でバッテリを持ち、左手でバッテリケーブル（黒）のコネクタを、－端子に差し込みます。②

コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

6.　バッテリを本機の奥まで挿入します。

7.　バッテリ交換用カバー下部の爪構造に注意しながら、取付けます。

8.　バッテリ交換用カバー固定ネジをドライバで時計回り方向に回し、しっかりと締め付けます。

以上でバッテリ交換は完了です。

<運転状態のまま交換した後は・・・>

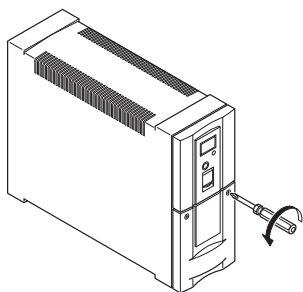
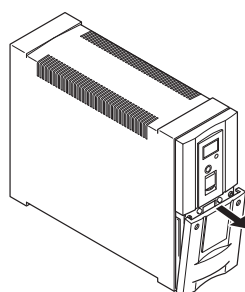
「ブザー停止 / テスト」スイッチを 10 秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約10 秒のテスト後に正常運転に戻ります。ブザー音が鳴っている場合は、1 回目にスイッチを押すとブザー音が停止します。次にもう一回スイッチを押すと「テスト」をスタートします。交換前に「バッテリ交換」表示、ブザーが出ていた場合は、テスト完了後に表示・ブザーが停止し正常運転に戻ります。

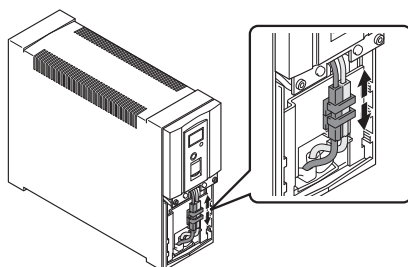
<運転を停止して交換した後は・・・>

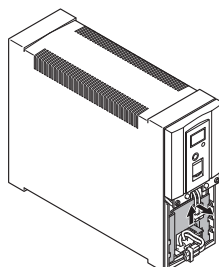
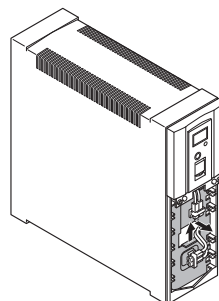
「AC 入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、無停電電源装置（UPS）の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約 10秒のテスト後に正常運転に戻ります。

同梱のバッテリ交換日ラベルに使用開始日をご記入の上、見える所に貼付してください。なお、無停電電源装置（UPS）に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

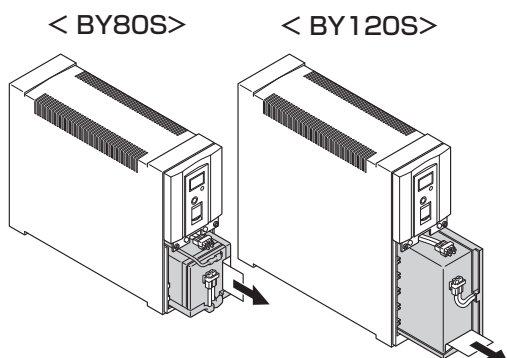
< BY80S/BY120S >

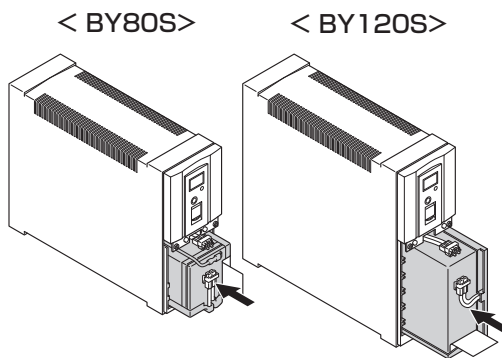
1.　前面パネルを開けます。

ネジ 2 個を回して外します。

前面パネルを外します。
前面パネルが外しにくい場合には、
少し持ち上げてください。

2.　バッテリの接続コネクタを外し、金属カバーを取り外します。

赤と黒のコネクタを外します。
両手でコネクタの左右を持ち、
左右に引きます。

< BY80S>

< BY120S>

3.　バッテリに貼ってあるラベルを持ってバッテリパックを取り出します。
新しいバッテリパックを挿入します。

⚠ 注 意

バッテリを取り外すときにケーブルを持たないこと。

< BY80S>　< BY120S>

白いラベルを持ってバッテリを引き出し、
バッテリ本体を保持して取り出します。
⚠　落下しないようご注意ください。

< BY80S>　< BY120S>

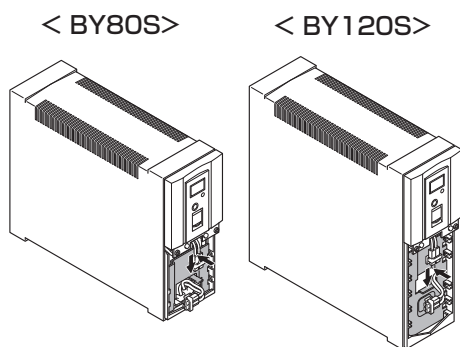
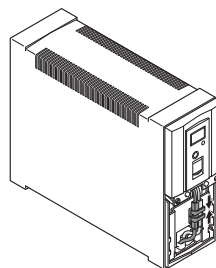
新しいバッテリパックを挿入します。

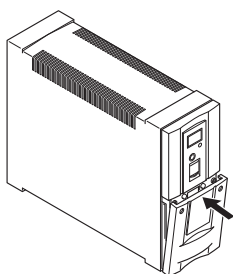
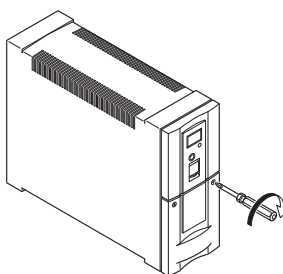
●交換用バッテリパック

ＢＹ８０Ｓ用：型式名　ＢＹＢ８０Ｓ
ＢＹ１２０Ｓ用：型式名　ＢＹＢ１２０Ｓ

4.　金属カバーをはめ込み、コネクタを接続します。

本機の運転を停止して交換する場合、コネクタ接続時に“バチッ”と音がすることがありますが異常ではありません。

< BY80S>　< BY120S>

金属カバーを切り欠き部を合わせてはめ込み、下へスライドして固定します。
（バッテリがケース内に固定されます。）

赤と黒のコネクタをそれぞれ接続します。
（接続後、コネクタが完全に根本まで入ってることを確認してください。）

5.　前面パネルをはめ込みます。
前面パネルにあるネジ2個をドライバで時計回りに回して締め付けます。

前面パネルをはめ込みます。　　ネジ2個を締め付けます。

＜運転状態のまま交換した後は・・・＞
交換前に「バッテリ交換」表示、ブザーが鳴動していた場合は、「ブザー停止 / テスト」スイッチをまず一回押してブザー音を停止させ、さらにスイッチを5秒以上押し、自己診断テストを実施してください。約10秒のテスト完了後に表示・ブザーが停止し、正常運転に戻ります。

＜運転を停止して交換した後は・・・＞
「AC入力」プラグを電源コンセント（商用電源）に接続し、本機の「電源」スイッチを入れてください。運転開始時、自動的に自己診断テストを実施します。約10秒のテスト後に正常運転に戻ります。

以上でバッテリ交換は完了です。

側面のシールに使用開始時期を記入してください。なお、本機に添付の自動シャットダウンソフトをご使用いただければ、本ソフトにて使用開始時期を管理いただけます。

◆お願い◆

この製品には、鉛バッテリ（鉛蓄電池）を使用しています。
●鉛バッテリはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。
●リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。

●交換済みの不要バッテリはお客様のご負担は送料のみの無償引取りを行っております。詳しくは別紙、「UPSリプレイスサービス」引取依頼書をご参照ください。

オムロン株式会社

K1L-D-09012B
9475027-4B